豊田工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	英語会話B

科目基礎情報

科目番号	01231	科目区分	一般 / 必履修，選択必修（英）
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	電気・電子システム工学科	対象学年	1
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	「ENGLISH FIRSTHAND SUCESS」（ISBN 9789813130210) (Pearson)、「めざせ１００万語！読書記録手帳」（コスモピア）、多読・多聴用教材（CALL教室および図書館備えつけのもの）		
担当教員	水口 陽子,M. Bodell,J. Ahern,R. Fontaine		

到達目標

(ア)文における基本的なイントネーションを理解し、シャドーイングや音読ができる。
(イ)相手が自分や身近なことについて基本的な表現を用いて話す場合、その内容を聴いて理解できる。
(ウ)平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目(ア)	文における基本的なイントネーションを正しく理解し、正確にシャドーイングや音読ができる。	文における基本的なイントネーションを理解し、シャドーイングや音読ができる。	文における基本的なイントネーションが理解できず、シャドーイングや音読ができない。
評価項目(イ)	相手が自分や身近なことについて基本的な表現を用いて話す場合、その内容が正確に理解できる。	相手が自分や身近なことについて基本的な表現を用いて話す場合、その内容が理解できる。	相手が自分や身近なことについて基本的な表現を用いて話す場合、その内容が理解できない。
評価項目(ウ)	平易な物語文を読み、その概要が正確に把握できる。	平易な物語文を読み、その概要が把握できる。	平易な物語文を読み、その概要が把握できない。

学科の到達目標項目との関係

本校教育目標 ④ コミュニケーション能力

教育方法等

概要	本講座は、「英語会話A」と同様に次の２部構成となる：A＝外国人講師による少人数グループ(15名程度)での英会話の授業(45分)、B＝英文の多読、多聴によりリスニング力、スピーキング力、語彙力を育成する授業(45分)。Aにおいては、外国人講師とアクティブな会話演習を行うとともに、毎回課せられる課題を通して「英語で考える(Thinking in English)」力を養う。Bにおいては、多読・多聴によりAの授業で必要とされるリスニング力・語彙力を養成するとともに、シャドーイングを通して自然な英語のリズム、そしてスピーキング力を養う。
授業の進め方・方法	
注意点	外国人講師の授業においてはネームカードを忘れないようにすること。多読・多聴活動は、授業外にも図書館を利用して自律的に行うこと。

選択必修の種別・旧カリ科目名

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	A：会話演習１（It was great!) B：多読・多聴活動	会話演習１ができる。指定された図書で多読・多聴活動ができる。
		2週	A：会話演習２（It was great!) B：多読・多聴活動	会話演習２ができる。指定された図書で多読・多聴活動ができる。
		3週	A：会話演習３（How much do you know?) B：多読・多聴活動	会話演習３ができる。指定された図書で多読・多聴活動ができる。
		4週	A：会話演習４（How much do you know?) B：多読・多聴活動、シャドーイング演習	会話演習４ができる。指定された図書で多読・多聴活動ができる。シャドーイング演習ができる。
		5週	A：会話演習５（She can really sing!) B：多読・多聴活動、シャドーイング演習	会話演習５ができる。指定された図書で多読・多聴活動ができる。シャドーイング演習ができる。
		6週	A：会話演習６（She can really sing!) B：多読・多聴活動、シャドーイング演習	会話演習６ができる。指定された図書で多読・多聴活動ができる。シャドーイング演習ができる。
		7週	A：会話演習７（What do you like to do?) B：多読・多聴活動、シャドーイング演習	会話演習７ができる。指定された図書で多読・多聴活動ができる。シャドーイング演習ができる。
		8週	A：会話演習８（What do you like to do?) B：多読・多聴活動、シャドーイング演習	会話演習８ができる。指定された図書で多読・多聴活動ができる。シャドーイング演習ができる。
	4thQ	9週	A：会話演習９（Of course you can.) B：多読・多聴活動、シャドーイング演習	会話演習９ができる。指定された図書で多読・多聴活動ができる。シャドーイング演習ができる。
		10週	A：会話演習１０（Of course you can.) B：多読・多聴活動、シャドーイング演習	会話演習１０ができる。指定された図書で多読・多聴活動ができる。シャドーイング演習ができる。
		11週	A：会話演習１１（Of course you can.) B：多読・多聴活動、シャドーイング演習	会話演習１１ができる。指定された図書で多読・多聴活動ができる。シャドーイング演習ができる。
		12週	A：会話演習１２（What happened next?) B：多読・多聴活動、シャドーイング演習	会話演習１２ができる。指定された図書で多読・多聴活動ができる。シャドーイング演習ができる。
		13週	A：会話演習１３（What happened next?) B：シャドーイング発表	会話演習１３ができる。指定された図書で多読・多聴活動ができる。シャドーイング発表ができる。
		14週	A：会話演習１４（What happened next?) B：シャドーイング発表	会話演習１４ができる。指定された図書で多読・多聴活動ができる。シャドーイング発表ができる。
		15週	A：後学期のまとめ　　B：後学期のまとめ	後学期の内容が理解できる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	

評価割合

	定期試験	課題	口頭発表	合計
総合評価割合	50	20	30	100
基礎的能力	50	20	30	100